

年 頭 所 感

平成28年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚誼に心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、円安株高基調が定着するなかにあっても、日本経済の先行き不安は払拭されるに至らず、政府が期待する設備投資や賃上げに積極的に対応した企業も一部に留まる等、景気は心許ない実態に推移することとなりました。また、世界に目を向けますと、米国経済が下支えとなり緩やかながらも回復したところですが、原油価格や中国における株価が大幅に下落し、また、ヨーロッパを中心としたテロ活動が活発化する等、不透明な状況が依然として続くこととなりました。

本所にあっては、8月にコメ先物市場試験上場期間の満了を迎えましたが、さらに2年間の試験上場を延長することが認可されることとなりました。本上場には届かなかったものの、当業者の参加が全国に広がるにつれ、コメ先物価格は注目を集めており、価格発信機能は着実に認知されているとの手応えを感じているところです。

今後の課題は、生産者や集荷業者、流通業者、中食や外食産業の方々、さらには投資家を含む多様な取引参加者の裾野をさらに広げていくことや、その実現に向けて市場流動性を高めていくことにあると認識しているところです。これらを踏まえ、かねてより実施しておりました市場参加者の先物市場活用の実態及び市場制度に係る改善要請等の調査につきまして、対象者の属性に焦点を当てた新たなものを追加実施し、また、各種セミナーや勉強会等を随時積極的に開催するとともに、東京コメ及び大阪コメにおける予約注文状況を本所WEB SITE で掲載する等の取り組みを推進致しました。

本年は昨年の流れを加速させ、何としましてもコメの本上場に向けた礎を築くことを目指します。特に、商品先物市場は資産運用の場であるだけでなく、産業インフラとして国益に資する存在であることを広く普及させるにあたり、コメこそが最も理解を得やすい上場商品の一つであることを改めて意識したうえで、各種施策に迅速に取り組む所存でございます。

このような決意のもと、将来、TPPをはじめとするグローバル経済下で、内外に向けたコメ先物価格の発信が、必ずや国内農業の産業化や強い農業の確立のためにお役に立てる

ものと信じ、その時を迎える準備を怠ることなく、先物市場の理解浸透を通じた市場活用の気運を高めるよう努めて参ります。また、当業者と投資家はいずれも市場活性化に向けて欠くことのできない両輪であり、どちらを優先するといった議論ではなく、双方にとっての利便性向上を同時に最大限追求していくとの方針を掲げ、各種情報発信を積極的に展開するとともに、コメ先物市場へのアクセス環境をさらに向上させる観点から、会員負担を極小化するなかで、より利便性の高い取引システムの構築について、会員の同意を得ながら検討を進めて参ります。

その他、当面は所内リソースを最重要課題であるコメ先物市場の活性化に優先して割り振りながらも、農産物専門取引所としてのニーズに合わせた上場商品の拡充に向け、中期的な調査研究を並行して続けて参ります。加えて、大阪経済活性化の一助となるよう、大阪・デリバティブという共通項のもと、大阪取引所との連携を通じ「先物発祥の地、大阪堂島」を広くアピールしつつ、大学関係者の協力を得て、未来に向けた先物市場の土台作りとしての大学寄附講義を開講する等、着実な啓蒙活動を引き続き展開して参ります。

最後になりますが、本年こそ商品先物市場が飛躍する年となることを祈念し、また皆様方の益々のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げますとともに、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成28年 元旦
大阪堂島商品取引所
理事長 岡本 安明